

第19回 富山景気定点観測アンケート 調査結果

2019年8月

富山経済同友会
経営・CSR委員会

第19回 富山景気定点観測アンケート調査結果

調査期間：2019年7月12日～7月26日

調査対象：富山経済同友会会員企業 409社

回答数：174社（回答率42.5%）（製造業49社、非製造業125社）

※本調査は年2回（7月頃、12月頃）実施

【調査結果の概要】

I 経済情勢

1. 富山の景気の現状について (☞ P1)

前回調査時（2018年12月）に比べ、「緩やかに拡大している」が減少（48%→25%）し、「横ばい状態が続いている」（43%→51%）と「緩やかに後退している」（7%→22%）が増加している。

2. 2019年後半の景気見通しと主要な経済指標について (☞ P1, P2)

「横ばい状態が続いていく」が最も多い（39%）が、「緩やかに拡大していく」が減少（40%→18%）し、「緩やかに後退していく」が増加（12%→33%）した。

その判断根拠（複数回答）では、「減少」項目は「個人消費」（42%）が最も多く、次いで「生産・販売」（29%）、「設備投資」（23%）、「輸出減少」（21%）が続いた。「増加」項目は「設備投資」（17%）が最も多く、続いて「個人消費」（13%）が続いた。

II 企業業績、設備投資等

1. 業績について (☞ P3)

○売上高（前年同期比）

2019年4-6月期見込および2019年7-9月期予想とも「横ばい」が最も多くなっている。

	2019年4-6月見込	2019年7-9月予想
増収	29%	26%
横ばい	41%	50%
減収	30%	24%

○経常利益（前年同期比）

売上高と同様に2019年4-6月期見込および2019年7-9月期予想とも「横ばい」が最も多くなっている。

	2019年4-6月見込	2019年7-9月予想
増益	24%	23%
横ばい	42%	49%
減益	34%	28%

2. 2019年度の設備投資（2018年度比）について（☞ P4）

「2018年度並み」が47%、「増額」が27%、「減額」が26%となった。

3. 雇用状況について（☞ P5）

雇用人員は「不足している」が56%で最も多く、次いで「適正である」が42%、「過剰である」が2%であった。不足感のある雇用人員は「技術者・専門技能者」と回答する企業が多かった。

Ⅲ トピックス

1. 外国人労働者の雇用について（☞ P6, P7）

外国人労働者を雇用している（していた）企業は会員企業の32%、雇用していない企業は68%であった。

外国人労働者を雇用する（していた）理由としては「日本人が採用できないため」が53%と一番多く、「海外展開を強化するため」25%、「外国人ならではの能力が必要なため」20%の順となった。

外国人労働者を雇用しない理由は「社内の受入体制が不十分」が58%と一番多く、「教育・指導に時間がかかる」25%がそれに続いた。

2019年4月1日より人手不足が深刻な産業分野において「特定技能」での外国人材受入が可能になったが、それに対する関心は45%となった。

今後の外国人採用計画は現状維持（雇用しない場合も含む）が76%、増やしていきたい企業は23%であった。

2. シニア人材の活用について（☞ P7）

50歳以上のシニア社員の数が今後10年以上でどのように変化するかの問題に対して、「少しずつ増えていく」が会員企業の55%、「大きく増えていく」が33%であった。

雇用年齢の引き上げの検討については「特に検討していない」は45%。「定年年齢の引き上げ検討中」は26%、「継続雇用の上限引き上げを検討中」が29%となった。

3. 女性活躍推進について（☞ P7, P8）

女性従業員の数を増やしていく考えがあるかの質問に対し、会員企業の55%が「増やしていく」、44%が「変わらない」と回答した。

今後女性管理職の登用については「積極的に登用」が73%、「特に増やしていく考えはない」は27%だった。増やしていく考えのない企業の理由は「女性従業員が少数だから」（36%）が一番多く、「女性がつける管理職ポストがないから」（30%）が続いた。

女性の管理職の登用を促進するために取り組んでいることとしては、「意識啓発のため女性従業員対象の研修参加」（38%）が一番多く、次に「特になし」が32%となり、「男性職種への配置転換」、「資格奨励」がともに27%と続いた。

I 経済情勢

1. 景気の現状について

現在の富山の景気動向をどのように判断されますか。

(回答社数 174 社)

調査時点	2017/12	2018/7	2018/12	2019/7
拡大している	3%	3%	1%	1%
緩やかに拡大している	61%	42%	48%	25%
横ばい状態が続いている	32%	48%	43%	51%
緩やかに後退している	4%	8%	7%	22%
後退している	0%	0%	1%	1%
その他	0%	0%	0%	0%

2. 2019 年後半の景気見通しと主要な経済指標について

- (1) 富山の 2019 年後半（2019 年 7 月～2019 年 12 月）の景気の見通しについて
どのように判断されますか。

(回答社数 174 社)

調査時点	2017/12	2018/7	2018/12	2019/7
拡大していく	1%	2%	1%	1%
緩やかに拡大していく	59%	41%	40%	18%
横ばい状態が続いていく	34%	45%	46%	39%
緩やかに後退していく	5%	9%	12%	33%
後退していく	1%	2%	1%	9%
その他	0%	1%	0%	0%

※各調査時点において先行き半年間の景気見通しを回答

(2) そのように判断する根拠をお選び下さい（2つまで）

（回答社数 171 社）

設備投資	増加	17%
	減少	23%
個人消費	増加	13%
	減少	42%
政府支出	増加	6%
	減少	2%
住宅投資	増加	4%
	減少	5%
輸出	増加	1%
	減少	21%
生産・販売	増加	6%
	減少	29%
その他		7%

(3) 対ドル円相場について、2019年12月末時点の見通しをご回答ください。

（回答社数 170 社）

95 円未満	95 円～ 100 円未満	100 円～ 105 円未満	105 円～ 110 円未満	110 円～ 115 円未満	115 円～ 120 円未満	120 円～ 125 円未満	125 円以上
1%	0%	15%	64%	18%	2%	0%	0%

(4) 日経平均株価（225 種）について、2019年12月末時点の見通しをご回答ください。

（回答社数 169 社）

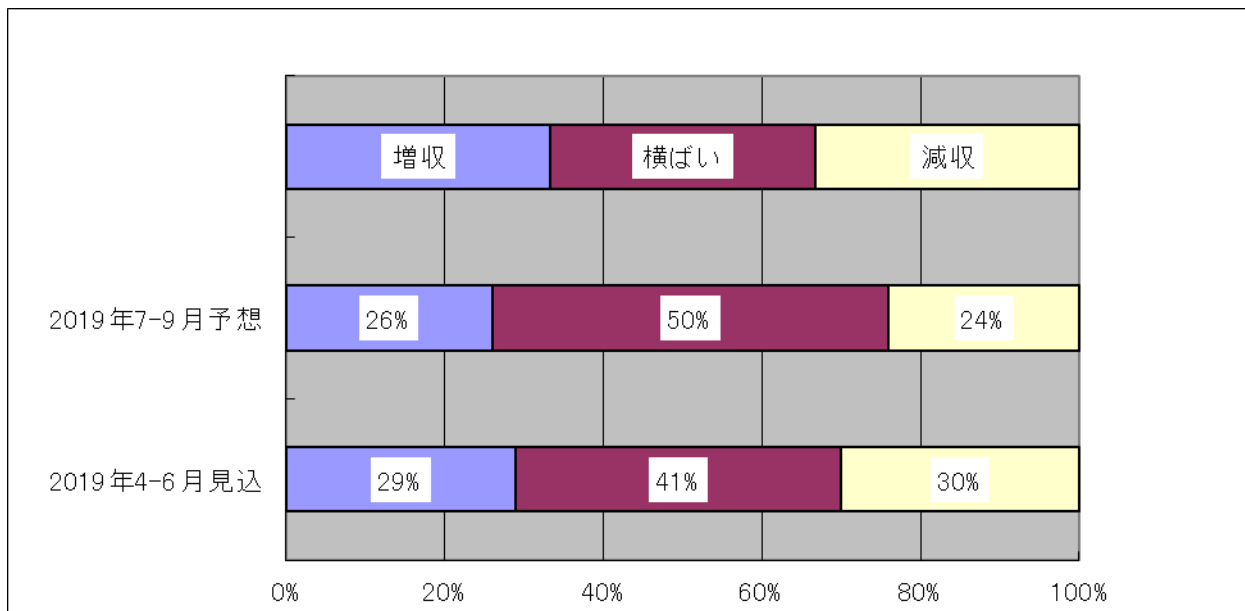
17,000 円未満	17,000 円台	18,000 円台	19,000 円台	20,000 円台	21,000 円台	22,000 円台	23,000 円台	24,000 円台	25,000 円以上
0%	0%	1%	7%	25%	39%	25%	3%	0%	0%

Ⅱ 企業業績、設備投資等（企業関連設問）

1. 貴社（貴支店等）の業績についてお伺いします。

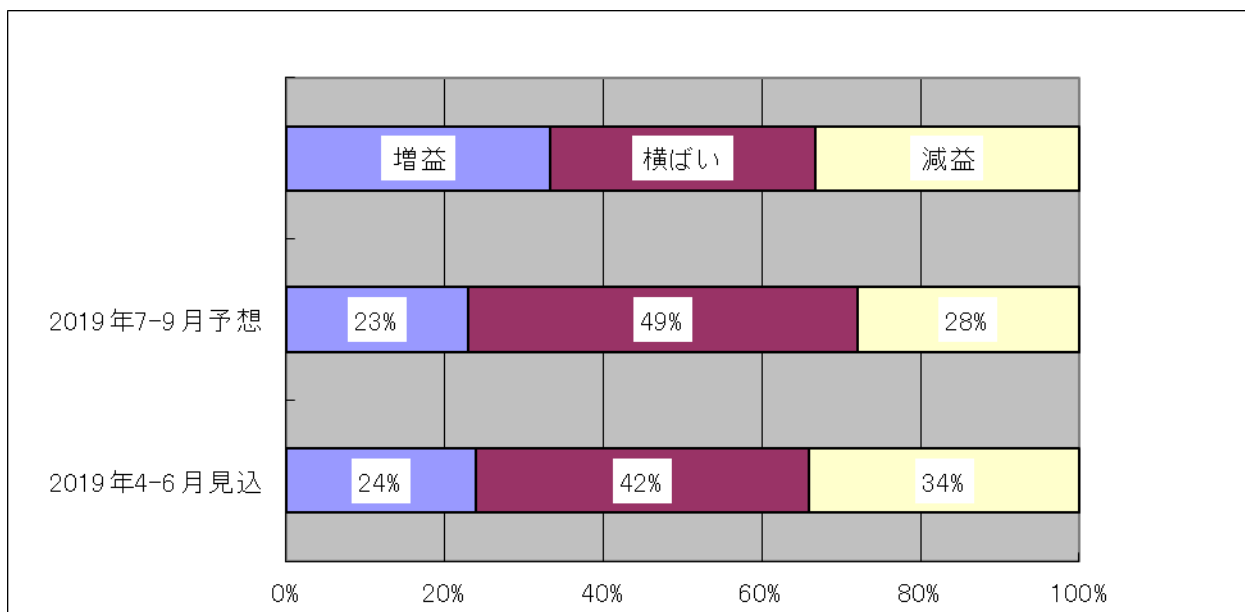
【売上高】（前年同期比）

（回答社数 169 社）



【経常利益】（前年同期比）

（回答社数 163 社）



2. 貴社（貴支店等）の2019年度の設備投資についてお伺いします。(1) 国内の設備投資額は、2018年度(前年度)比でどのようになる予定でしょうか。

(回答社数 168 社)

調査時点	2017/12	2018/7	2018/12	2019/7
増額	38%	35%	23%	27%
2018年度(前年度)並み	49%	52%	58%	47%
減額	13%	13%	19%	26%

(2) 増額される設備投資の主な内容をお選び下さい。(複数回答可)

(回答社数 103 社)

能力増強投資	31%
新規事業投資	21%
合理化・省力化投資	34%
環境対策投資	17%
維持・補修・更新等の投資	49%
その他	3%

(3) 減額される設備投資の主な内容をお選び下さい。(複数回答可)

(回答社数 80 社)

能力増強投資	18%
新規事業投資	38%
合理化・省力化投資	13%
環境対策投資	4%
維持・補修・更新等の投資	46%
その他	0%

3. 貴社（貴支店等）の雇用状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。

(1) 全体として、雇用人員は

(回答社数 173 社)

調査時点	2017/12	2018/7	2018/12	2019/7
過剰である	2%	3%	6%	2%
適正である	41%	38%	36%	42%
不足している	57%	59%	58%	56%

(2) 過剰感のある雇用人員は（2つまで）

(回答社数 36 社)

経営・管理職	44%
一般社員、工員等	33%
技術者・専門技能者	3%
営業専門職（歩合、請負等）	0%
アシスタント（派遣、パート、アルバイト等）	22%
その他	8%

(3) 不足感のある雇用人員は（2つまで）

(回答社数 127 社)

経営・管理職	9%
一般社員、工員等	33%
技術者・専門技能者	69%
営業専門職（歩合、請負等）	23%
アシスタント（派遣、パート、アルバイト等）	10%
その他	2%

Ⅲ トピックス

1. 外国人労働者の雇用について

(1) 現在、外国人労働者を雇用していますか。

(回答社数 174 社)

雇用している	28%
過去に雇用していたが、現在は雇用していない	4%
雇用していない	68%

(2) (1) で「雇用している」、「過去に雇用していたが、現在は雇用していない」とお答えいただいた方

1) 外国人労働者を雇用する（していた）理由（複数回答可）

(回答社数 55 社)

日本人が採用できない（募集しても集まらない）ため	53%
日本人より賃金が安い	13%
海外展開を強化するため	25%
外国人ならではの能力が必要なため	20%
その他	18%

(3) (1) で「雇用していない」とお答えいただいた方

1) 外国人労働者を雇用しない理由（複数回答可）

(回答社数 118 社)

在留資格の確認や変更手続きが煩雑・不安であるため	16%
社内の受け入れ体制が不十分であるため	58%
教育・指導に時間がかかるため	25%
言葉や文化、宗教の違いによる不安があるため	21%
社内コミュニケーションに不安があるため	21%
人材が不足し、採用予定がないため	19%
採用・雇用の方法がわからないため	6%
その他	13%

(4) 2019年4月1日より人手不足が深刻な産業分野において「特定技能」での外国人材の受け入れが可能となりましたが、関心がありますか。

(回答社数 170 社)

関心がある	45%
関心がない	37%
よくわからない	18%

(5) 今後、外国人労働者の採用計画はありますか。

(回答社数 169 社)

さらに増やしていきたい	23%
現状維持（雇用しない場合も含む）	76%
減らしたい	1%

2. シニア人材の活用について

(1) 50歳以上のシニア社員の数が、今後10年間でどのように変化すると予測しますか。

(回答社数 174 社)

大きく増えていく	33%
少しずつ増えていく	55%
それほど変わらない	9%
少しずつ減っていく	3%
大きく減っていく	0%

(2) 雇用年齢の上限引き上げを検討していますか。

(回答数数 172 社)

特に検討はしていない	45%
定年年齢の引き上げを検討中	26%
継続雇用の上限引き上げを検討中	29%

3. 女性活躍推進について

(1) 女性従業員の数に現在と比べ増やしていく考えはありますか

(回答社数 172 社)

増やしていく	55%
変わらない	44%
減らしていく	1%

(2) 今後管理職の登用にあって、女性を積極的に登用しようと考えていますか。

(回答社数 172 社)

積極的に登用していきたい	73%
特に増やしていく考えはない	27%

- (3) (2)で「特に増やしていく考えはない」とお答えいただいた方
その理由についてお答え下さい。(複数回答可)

(回答社数 44 社)

女性従業員が少数だから	36%
女性従業員は勤続年数が少ないから	11%
女性がつける管理職ポストがないから	30%
その他	27%

- (4) 女性の管理職の登用を促進するために取り組んでいること(複数回答可)

(回答社数 169 社)

意識啓発のため女性従業員対象の研修に参加させる	38%
幅広く業務を経験させるため男性職種へ配置転換する	27%
資格を奨励している	27%
特にない	32%
その他	5%

・ 回答者業種分類

業種	件数	比率
建設業	34	19%
製造業	49	28%
電気・ガス・水道業	4	2%
情報通信業	4	2%
運輸業	8	5%
卸売・小売業	28	16%
金融・保険業	17	10%
不動産業	4	2%
飲食店・宿泊業	1	1%
サービス業	15	9%
その他	10	6%
総数	174	100%

・ 回答者企業規模（従業員数）

※支店等の場合は全社の値

規模	件数	比率
10人未満	6	3%
10～49人	49	28%
50～99人	26	15%
100～199人	20	12%
200～399人	22	13%
400人以上	51	29%
総数	174	100%

以 上